

I 全般的留意点

1. 文章は、原則として常用漢字、現代かなづかい、アラビア数字を使用し、平明な表現を用いる。用語、固有名詞等の表記の統一に留意する。
2. 節は1, 2…、項は(1), (2)…とする。さらに下位区分を用いる場合は①, ②…とする。文中で列挙する場合は、(1), (2)…もしくは①, ②…を用いる。
3. 外国の国名、地名、人名などは、原則としてカタカナ書きにする。なお、一般化していない固有の名称（地名、人名、機関名、会社名など）は、最初に限りその原語（ただし、ローマ字を通常使用しない言語の場合には、そのローマ字化したもの）をカッコ内に付記する。以後の記述で必要に応じて日本語表記に略語を併記してもよい。

例 タンダン（Purushototamdas Tandan）は…、タンダンの主張によれば…
民主行動党（Acción Democrática: AD）が…、ADは…
4. 外来語、外国の度量衡および貨幣の単位は、原則としてカタカナ書きにする（例：メートル、トン、ドル、ヘクタール）。ただし、パーセントは「%」（半角）を用いる。また図表では、一般的な単位は記号（m, g, tなど）を用いる。
5. 数字は原則としてアラビア数字の半角を使う。ただし、万以上の数字には万、億、兆などを用いる。概数の場合は、十数人、数十年などとする。桁区切りは使わない。

例 23億1500万円 1万2000人 第2次5カ年計画 表1 0～5歳
6. 年は西暦を使用する。特別の暦法による暦を使用する場合には西暦年を〔 〕で付記する。年度の表示には半角スラッシュを用いる。継続年次の場合は「～」を用いる。

例 1970/71会計年度 1970～75年
7. カッコ（ ）、〔 〕は本文中ではすべて全角カッコを、文献リスト内ではすべて半角カッコを用いる。
8. 注は通し番号を付し、ページ脚注とする。

例 指定大商社²は、…である²
9. 著（編）者名と刊行年の表記は出来るだけ本文中で行い、注には回さないこと。

例 × （本文）…とスミスは説明している¹。⇒注では 1. Smith [1990, 20-21] .
○ （本文）…とスミスは説明している [Smith 1990, 20-21]。
10. アラビア語の転写文字の表記方法は、『岩波 イスラーム辞典』に準拠する。

II 本文および注での文献表記

1. 地の文で文献に言及するときは、「著（編）者姓 [刊行年]」の形式で示す。文中にかっこ書きで示すときは、「[著（編）者姓 刊行年]」の形式で示す。ページ数を示す場合は、刊行年のあとにカンマと半角スペースを打ってから記載する。連続するページ数を示す場合は半角ハイフンを使

う。文献内の複数箇所を示す場合はカンマで区切って列挙する。

例 今西 [1974] は…、…という説もある [McAndrew 1989]。

今西 [1974, 26] は…、今西 [1974, 26-31] は…

…という説もある [McAndrew 1989, 14, 18-20]。

2. 編者、監修などの場合でも、姓の後に「編」、「監修」、「ed.」、「comp.」等を付けない。
3. 複数著（編）者の場合は、原則として3人までは全員の名前を出す。4人以上の場合は最初の1人のみを明示し、2人目以降は「ほか」、「et al.」と略記する。なお、「&」は使わない。

例 今西・鹿野 [1978] は…、Baumgartner and Kada [2003] は…

Smith, Wessen and Gunless [1988] などの研究が…

Zipursky et al. [1959] によれば…、…という [Zipursky et al. 1959]。

4. 同一著者の複数の文献を示す場合は、半角セミコロンと半角スペースを打ってから列挙する。ページ数を示すときは、半角カンマと半角スペースに続いて記す。

例 今西 [1978; 1980] は…、…という説もある [McAndrew 1989; 1992; 1994]。

Garcia [1941, 45-49; 1944, 105] によれば…

5. 一つのかっこ内で著（編）者の異なる複数の文献を示す場合は、半角セミコロンと半角スペースを打ってから列挙する。

例 …とされている [Smith 1988; McAndrew 1989, 202-211]。

6. 著（編）者名が付いていない刊行物の場合は、発行機関名を表記する。機関名が長い場合には、略号、略称を用いてもよい。ただし文献リストでは正式名称が分かるようにしておくこと。

例 （本文）CEPAL [1994]

（文献リスト）CEPAL (Comisión Económica para América Latina y el Caribe) 1994. *El regionalismo abierto en América Latina y el Caribe*. Santiago de Chile: CEPAL.

7. 2度目以後の引用の場合には、前掲書・前掲論文、同上書・同上論文、op. cit.、Ibid.という言葉を使用しない。

8. ウェブサイトや電子版新聞の無署名記事など、参考文献に入れるのが難しい場合は、脚注をつけることができる。その場合は、記事や情報のタイトル、新聞名や発行機関名、発行年月日を記載するとともに、URLを記事タイトルに埋め込む。

例 ¹“[FG Explains Why It Labelled IPOB a Terrorist Group.](#)” *Vanguard*, 29 September, 2017.

III 文献リスト

1. 文献リストは日本語文献と外国語文献に分け、本文・注・図表の中で引用または参照した文献のみを記載する。

日本語文献は著者姓名の50音順、外国語文献は原則として著者姓のアルファベット順（姓、名の順に倒置する）に並べる。

共著の外国語文献では、原則として最初の編著者名のみ姓名を倒置する。編著者名は省略せず全員を記す。英語文献の場合、最後の著者の前に ,and をおく（andの前にカンマを入れる）。英

語を除く外国語（フランス語、ポルトガル語など）の文献の場合、and のかわりに、et、e など、それらの原語で表記する。

同一著者の文献が複数ある場合は、単著、編著に関係なく、出版年を昇順に並べる。同一著者の文献が同一年に複数ある場合は、文献タイトルの 50 音順、アルファベット順に並べ、刊行年に a, b・・・と付記して区別する。

同じ著（編）者の文献が続くときは 2 度目以下は——（3 倍ダッシュ）で表記する。なお、著書の後に編著が続く場合は、——編、——ed.（編者が複数の場合は eds.）とする。ただし、別の著者や編者が新たに付け加わる場合には、最初の著（編）者名ももう一度出すこと。

例 Fontanelle, Eric C. 1944. *Preparing for the Postwar Period*. Columbus, Ohio: W. C. Cartwright and Daughters.

——1952. *What Really Happened When the War Ended*. Cleveland: Chagrin Valley Press.

Fontanelle, Eric C. and Valeria Mandible 1951. “Iron Despair: Postwar Bewilderment.” *World Spectator* 6 (April).

2. 単行書

日本語文献は「著者姓名 出版年.『書名』出版社.」と記載する。シリーズ名と出版地は省略する。邦訳書は「著者姓名 出版年.『書名』翻訳者名 出版社.」とする。原著情報を記す場合は、出版社に続いて半角丸かっこ内に記載する。

例 池田明史 1994.『イスラエル国家の諸問題』アジア経済研究所.

ハイランド, G・ウィリアム 2005.『冷戦後のアメリカ外交——クリントン外交はなぜ破綻したのか——』堀本武功・塚田洋訳 明石書店 (William Hyland, *Clinton's World*. New York: Praeger, 1999).

英語文献は「著者名 出版年. 書名. 出版地: 出版社.」と記載し、書名は文頭を大文字とし、それ以外では冠詞、前置詞、等位接続詞を除くすべての単語を大文字で始め、イタリックで表記する。邦訳情報を記す場合は、出版社につづいて半角丸かっこ内に記載する。

例 Samuelson, P.A. 1964. *Economics: An Introductory Analysis*. 6th ed. New York: McGraw-Hill (都留重人訳『経済学——入門的分析——』岩波書店 1966 年).

英語を除く外国語文献の書名は、1 つめの単語のみ大文字で始め、それ以降は小文字で始める（固有名詞は大文字）。

例 Toro Hardy, José 1992. *Venezuela 55 años de política económica*. Caracas: Editorial Panapo.

3. 単行書所収論文

日本語文献は「著者姓名 出版年. 「論文名」編者名『書名』出版社.」と記載する。外国語文献は「著者名 出版年. “論文名.” in 書名, edited by 編者名. 出版地: 出版社.」と記載し、書名はイタリックとする。英語文献では、論文名及び書名は、文頭を大文字とし、それ以外では冠詞、前置詞、等位接続詞を除くすべての単語を大文字で始める。英語を除く外国語文献では、論文名および単行書名は、1 つめの単語のみ大文字ではじめ、それ以降は小文字で始める（固有名詞は大文字）。また、in, ed. にあたる単語もそれぞれの言語で表記する。所収ページは記載してもしなくて

もよい。

例 中村政則 1994. 「軍配組合研究の現状と課題」 中村政則・高村直助・小林英夫編『戦時華中の物資動員と軍票』多賀出版.

Chakravarty, S. and R. S. Eckaus 1964. “Choice Elements in International Planning.” in *Capital Formation and Economic Development*, edited by P. N. Rosenstein-Rodan. London: Allen & Unwin.

López Sánchez, Roberto 2009. “Autonomía sindical y soberanía popular.” en *Ideas para debatir el socialismo del siglo XXI*. ed. Margarita López Maya. Caracas: Editorial Alfa.

4. 雑誌論文・記事

日本語文献は「著者姓名 出版年. 「論文名」『雑誌名』巻(号): 掲載ページ.」と記載する。外国語文献は、「著者名 出版年. “論文名.”雑誌名 巻(号): 掲載ページ.」と記載し、雑誌名はイタリックとする。雑誌名、および英語の論文名の表記は、文頭を大文字とし、それ以外では冠詞、前置詞、等位接続詞を除くすべての単語を大文字で始める。英語を除く外国語の論文名の表記は、1つめの単語のみ大文字で始め、あとは小文字で始める。DOI やパーマリンクがあるものは、掲載ページのあとに記載する。

巻号は「巻数(号数)」と表記する。号数表示だけの雑誌の場合は「(号数)」と表記する。発行月日・季節を記載する場合は、巻号のうしろに「, 発行月日・季節」もしくは「(発行月・季節)」の形式で挿入する。刊行月なども原語表記とする。掲載ページは半角ハイフンを用い、「開始ページ-終了ページ」と表記する。

例 島田周平 2020. 「連邦制問題を目覚めさせた『ヒョウ』——西部ナイジェリアで設立された自警団アモテクン考——」『アフリカレポート』(58): 102-116 (https://doi.org/10.24765/africareport.58.0_102).

福島真人 1988. 「内面と力——ジャワ神秘主義と伝統的政治モデル——」『民族学研究』52(4)(3月): 330-350.

Yared, Marc 1993. “Hafez le prudent, el-Assad le lion.” *Jeune Afrique* (1690), 27 mai: 66-73.

5. 新聞記事

執筆者が明記されている記事は、雑誌論文・記事同様、本文中に「執筆者名 年」を記載し、書誌情報は URL も含めて参考文献リストに記載する。執筆者名がない場合は、脚注に記事タイトル、新聞名(イタリック)、刊行年月日を記載し、URL がある場合は記事タイトル部分にハイパーリンクを埋め込むことができる。

文献リストに記載の例

Adebisi, K. 2021. “South-East Renunciation: What Next for Kanu, IPOB?” *News Agency of Nigeria*, 24 June (<https://www.thenewsnigeria.com.ng/2021/06/24/south-east-renunciation-what-next-for-kanu-ipob/>).

脚注に記載の例

“[Why DSS Ordered #EndSARS’ Promoters’ Bank Accounts Frozen, Stopped Foreign Travel.](#)” *Vanguard*,
9 November, 2020

日本語の署名記事は「執筆者名 出版年. 「記事名」『新聞名』刊行月日(URL).」と記載する。

例 原田和明 2000. 「IT 革命で安定成長続く」『日本経済新聞』5月5日.

石原孝 2017. 「ケニア大統領選、60日以内に再選挙 最高裁が不正認定」『朝日新聞』9月
1日(<https://www.asahi.com/articles/ASK9163YRK91UHBI032.html>)

外国語新聞の署名記事は「執筆者名 出版年. “記事名.” 新聞名, 刊行月日.(URL).」と記載する。
新聞名、および英語の新聞記事タイトルは、文頭を大文字とし、それ以外では冠詞、前置詞、等
位接続詞を除くすべての単語を大文字で始める。英語以外の外国語新聞の記事タイトルは、1つ
めの単語のみ大文字ではじめ、それ以降は小文字で始める（固有名詞は大文字）。発行月日も原語
表記とする。新聞名はイタリックで記す。なお、同一タイトルの新聞が複数地で刊行されている
など、弁別が必要な場合には新聞名のあとに出版地を付記することができる。

例 Finnonian, Albert 1990. “The Iron Curtain Rises.” *Wilberton Journal*, 7 February.

Overo, Ezekiel 2021. “Photos: Nnamdi Kanu Re-arrested, Returned to Nigeria-Malami.” *Premium
Times*, 29 June (<https://www.premiumtimesng.com/news/top-news/470586-photos-nnamdi-kanu-re-arrested-returned-to-nigeria-malami.html>).

6. インタビュー、聞き取り調査

引用回数が少ない場合は注で「いつ、どこで、誰が、誰に」聞いたのか説明書きを入れ、リスト
に載せる必要はない。ただし頻繁に引用するものについてはリストに載せ、本文、注では聴取者
ないし被聴取者名と聴取した年を記述する。

例 (本文) 田中 [1998]

(リスト) 田中一郎 1998. 「1998年2月1日、〇〇社への筆者インタビュー」.

7. インターネット情報

サイトの内容を明示したうえで URL を明示する。URL のみを表記することはしない。原則とし
て閲覧日は記載しない。データやページの更新があるなど閲覧日の記載が必要な場合は、日本語、
外国語いずれの場合も以下のように日本語で閲覧日を記載する。

例 “Address to the Nation by President Jacob Zuma on the Departure of Former President Nelson
Mandela,” South Africa Government Online, 5 December, 2013
(<http://www.gov.za/speeches/view.php?sid=42463>).

Consejo Nacional Electoral (<http://www.cne.gob.ve>, 2016年4月10日閲覧).

8. 上記に明記した以外の文献（内部資料や学位論文などの未刊行物、行政文書、外交文書、法律 条文、議事録、配付資料、政府刊行物など）の記載方法については、とくに記載様式を定めず、

単行書、論文、新聞・雑誌記事の扱いに準拠しながら、文献の特定に必要な書誌情報・収録情報を過不足なく明記するものとする。

IV 図 表

1. 図表にはそれぞれ半角で通し番号を付し（図 1、表 1）、タイトルをつける。
2. 必ず単位、出所を明記する。
3. 図表の下に注、出所の順に記載する。タイトルには注をつけず、図表全体に関わる注については、図表の下の注で説明する。
4. 空欄や記号などを用いた場合には、その意味を必ず注記する。
5. 原稿とともに、エクセル等のデータ・ファイルも提出する。